

研究種目：基盤研究（S）

研究期間：2006～2010

課題番号：18103001

研究課題名（和文）

景気循環・経済成長の総合研究 景気判断モデルの構築と日本経済の実証分析

研究課題名（英文）

Synthetic Studies on Business Cycle and Economic Growth - Construction of Business Cycle Models and Empirical Analysis of Japanese Economy

研究代表者

浅子 和美（ASAKO KAZUMI）

一橋大学・経済研究所・教授

研究者番号 60134194

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・理論経済学

キーワード：マクロ経済学、景気循環、景気基準日付、景気判断モデル

1. 研究計画の概要

本研究では、日本経済の適切な政策運営に役立てるために、日本経済の現状をより早く、よりの確に把握する体制の確立を図る。

より具体的には、景気循環の局面判断の観点からの日本経済の現状分析を行うとともに、経済制度面での歴史的変遷を踏まえた上で、1990年代以降の経済成長率や生産性上昇率の鈍化の原因を解明し、技術革新の活性化や産業構造の転換による日本経済の中長期的パフォーマンスの向上の可能性を探る。

2. 研究の進捗状況

(1)平成18年度発足以来、研究の柱としての景気循環研究会と産業景気研究会を定例的に開催してきており、日本経済の景気判断とりわけ景気転換点の決定に関し理論・実証両面から総合的に分析を行ってきた。具体的な研究の遂行は景気循環に関する理論的研究、日本経済のデータ分析、及び景気指標の作成、の3つのサブグループに分けて同時進行させてきている。年2回ペースでの泊りがけの全体コンファレンスも開催してきており、プロジェクト参加者間での討議の場とすると同時に、外部参加者との交流の場ともしてきた。

(2)景気循環に対する政策対応、特に財政・金融政策のあり方と民間の反応、金融市場や労働市場におけるセイフティネットの意義と経済効率性との齟齬、などについても極力定量的分析に努めてきた。この際、既存の景気予測モデルのパフォーマンス評価、新しい景気判断モデルの構築、景気予測・景気判断のもととなる有用な景気指標の改善・開発と

いった計量面での精緻化も図ってきた。

このほか、設備投資のストック調整原理や在庫・出荷の循環図に見られる日本の景気循環の特徴が、日本の金融市場や労働市場、あるいは日本的経済・経営システムなどの経済制度一般に関連したものなのか否かなども研究の射程内に捉えてきた。

アメリカやヨーロッパ諸国、東アジア諸国などの景気循環・経済成長の特徴をマクロ的視点から日本経済の特徴と対比することにも注力し、為替変動と景気循環の関係、とりわけ為替介入が景気安定に果たしてきた役割についての検証も始めている。

(3)2008年9月のリーマンショック以降の世界的金融危機及び世界同時不況は、景気循環研究の視点からは大変貴重なイベントスタディの機会となっており、これまでの研究成果の蓄積を踏まえて、残りの2年間も、世界同時不況を睨みつつ更なる研究成果を目指して研究を進める所存である。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

(理由)

過去3年間の研究活動はほぼ順調に経過してきており、今後もほぼ同じペースで研究成果の蓄積が期待できるので。

4. 今後の研究の推進方策

今後の研究の推進方策としては、当初計画から大幅に変更することなく、基本的には5年間のプロジェクトの残りの2年間として、当初企図した研究計画・方法に従って研究を推進する予定。ただし、(当初想定していな

かった)「100年に一度レベル」の深刻な世界同時不況に直面していることから、そのメカニズムの解明に向けての研究にも相応の研究エネルギーを注力して行く心積もりである。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計25件)

Takahashi, M., Omori, Y. and Watanabe, Toshiaki “Estimating stochastic volatility models using daily returns and realized volatility simultaneously” (2009), Computational Statistics and Data Analysis, Volume 53, Issue 6, pp. 2404-2426.

Omori Yasuhiro and Watanabe Toshiaki “Block Sampler and Posterior Mode Estimation for Asymmetric Stochastic Volatility Models” (2008), Computational Statistics & Data Analysis Vol.52, Issue6, pp2892-2910.

Itoh Hideshi, George Baker and Sadao Nagaoka “Organizational Innovation and Corporate Performance” (2008), Journal of the Japanese and International Economies Vol.22, 143-145.

外木好美, 落合勝昭, 浅子和美 「アジア諸国の景気と日本の景気:CIと貿易統計による運動性の検証」(2008年8月), 財務省財務総合政策研究所『フィナンシャル・レビュー』平成20年第3号(通巻第90号), 55-72頁

浅子和美, 滝澤美帆 「限界生産性原理とTFPのバイアス 生産性データベースを用いた国際比較」(2008年8月), 財務省財務総合政策研究所『フィナンシャル・レビュー』平成20年第3号(通巻第90号), 73-93頁

浅子和美, 小巻泰之 「地域別フィリップス曲線と産業構造」(2007年11月), 電力中央研究所社会経済研究所『社会経済研究』No.55, 3-29頁。

浅子和美, 小巻泰之, 竹田陽介, 地主敏樹, 林康史 「外国為替サーベイ・データの比較分析 JCIF と WEIS」(2007年4月), 『経済研究』第58巻第2号, 163-186頁。

Asako Kazumi, Ando Koichi, Kazuyuki Matsumoto, “Firms Perceptions of the Business Cycle and Their Managerial and Financial Conditions” (2007), Public Policy Review Vol.3 No.1, pp.1-26.

Itoh, Hideshi Business Portfolio Restructuring of Japanese Firms in the 1990s: Entry and Exit Analysis Ma-

sahiko Aoki, Gregory Jackson, and Hideaki Miyajima (eds.), “Corporate Governance in Japan” (2007)pp.227-256.
Miyagawa, T. “The Impact of Technology Shocks on the Japanese Business Cycle An empirical analysis based on Japanese industry data - ”,(2006), Japan and the World Economy 18, pp.401-417.

[学会発表](計30件)

Asako, Kazumi and Yasuyuki Komaki “A comparison of survey-based expectations of foreign exchange rates - Comparing the relative power of forecasting using the JCIF and the WEIS survey- ”, 29th CIRET Conference, Santiago, October 2008

[図書](計4件)

浅子和美, 池田新介, 市村英彦, 伊藤秀史 (編) 『現代経済学の潮流2008』2008年東洋経済新報社, 253頁

深尾京司・宮川努 (編) 『生産性と日本の経済成長 JIPデータベースによる産業・期業レベルの実証分析』, 2008年, 東京大学出版会, 347頁

浅子和美・宮川努 (編) 『日本経済の構造変化と景気循環』2007年, 東京大学出版会, 321頁

Ito, Takatoshi “A Basket Currency for Asia” Routledge, Pub., London, UK, 2007, 203p.

[その他]

景気循環特集 一橋大学経済研究所 『経済研究』関連論文4篇収録, 2009年7月。

新聞啓蒙雑誌掲載 2008年度5件

日経研月報連載, シリーズ「日本の景気・世界の景気」連載全16回予定, 2008年7月号 - 2009年10月号。

浅子和美責任編集「世界の景気循環」財務省財務総合研究所『フィナンシャル・レビュー』通巻第90号, 関連論文5篇収録, 2008年8月。

日経研月報連載, シリーズ「産業・地域の景気循環と景気指標」連載全9回, 2007年1月号 - 9月号。

日経研月報連載, シリーズ「景気循環を語る」連載全20回, 2004年12月号 - 2006年7月号。

浅子和美責任編集「ミクロの不均一性と日本のマクロ経済」財務省財務総合研究所『フィナンシャル・レビュー』通巻第78号, 関連論文6篇収録, 2005年8月。

ホームページ等

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/~asako>